

# TOLACを希望される方

帝王切開後経腔試験分娩（TOLAC）実施にあたり、厳密な適応がある事をご承知ください。

## ■TOLACの問題点

- ①TOLACは約100例に1例の割合で子宮破裂を起こすことがあります。

TOLACを実施するにあたっては、その適応を遵守し、緊急帝王切開のできる体制下で行う必要があります。

- ②陣痛促進剤を用いた場合、子宮破裂のリスクが高まります。

※「帝王切開既往妊婦に対する分娩誘発・陣痛促進は禁忌ではない」とされています（日産婦学会・日産婦医会、2006；7月）

**\*陣痛促進の際にプロスタグランジン製剤は用いません。**

既往帝王切開術式別の子宮破裂率	
古典的帝王切開術既往	2~9%
T字切開術既往	1.9%
(Handbook of Obstetric emergenciesより)	

子宮破裂の相対リスク (選択帝王切開のリスクを1とすると)	
自然陣痛発来	3.3
※オキシトシンを用いた陣痛誘発	4.9
※プロスタグランジンを用いた陣痛誘発	15.6

■にしじまクリニックでは、以下の条件を満たされた方にのみ、試験分娩（TOLAC）を試みます。

- ①前回帝切妊婦の試験分娩の禁止要件がないこと。

- ②前回帝切妊婦の試験分娩の許可条件を満たしていること。

※妊娠経過中に禁止要件・許可条件が出現してることがあります。

よってTOLACを希望された時点ではお受けしても、その後お断りすることがあります。

- ③本人および家族ともに経腔分娩を強く希望され、利益と危険性を理解している。

■以下の点に御留意願います。

- ①TOLAC分娩実施料として5万円を徴収させていただきます。

※緊急帝王切開の準備(資材および人員の確保など)のための費用です。

- ②人員が確保できる日の誘発分娩をお願いすることがあります。

### TOLACの禁止要件

- 前回帝王切開の手術内容が不明
- 2回以上の帝王切開既往
- 延長された子宮切開の既往、または緊急帝王切開で早産された方
- 今回児頭骨盤不均衡、巨大児、その他リスク
- 今回妊娠40週以後も頸管未熟

### TOLACの許可条件

- 上記禁止要件がない
- 本人・家族ともに希望し利益と危険性を理解している
- 今回妊娠経過に異常なし  
(ガイドライン産科編 CQ403に基づく)

■にしじまクリニックにおける試験分娩（TOLAC）の管理

- ①児の推定体重及び胎児位置、胎盤の位置、骨盤エックス線検査などから、試験分娩が可能か判定します。なお妊娠36週までに術前検査を行います。
- ②原則として妊娠39週まで自然陣発を待ちます。誘発分娩がいつでも可能となるように、妊娠37週から頻回の外来通院となります。
- ③妊娠39週～40週に至っても自然陣発しない場合には、陣痛促進剤（オキシトシン）を使用して誘発分娩を行います。ただし頸管成熟・子宮口開大が見られない場合は帝王切開分娩を強く勧めます。
- ④分娩時に切迫子宮破裂の症状がみられた場合には、速やかに緊急帝王切開分娩へ移行します。なお経膈分娩後の子宮破裂にも注意し状態監視を行います。

■以下の場合には緊急帝王切開分娩とします。

- ①血性羊水や出血、創部痛、肩の痛み、呼吸苦の出現、これらは子宮破裂の可能性があります。
- ②自然陣発入院後に続発性微弱陣痛となった場合
- ③24時間以上分娩が遷延した場合
- ④頸管成熟・子宮口開大が見られない場合
- ⑤誘発分娩を行っても有効陣痛が付かない場合
- ⑥胎児心拍（CTG）異常が見られた場合

にしじまクリニック 院長 殿

私は、上記事項について説明を受け、その内容に関して理解しました。  
そのうえで上記手術・麻酔・処置などの治療を受けることを希望します。  
また、適切かつ必要と認められる手術・麻酔・処置の追加・変更にも同意します。

令和 年 月 日

患者

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (印)

配偶者または保証人（続柄：夫、その他； \_\_\_\_\_ )

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (印)

緊急時連絡先（携帯電話番号等） \_\_\_\_\_